

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

令和5年11月14日（火） 発行人：校長 森内 秀学

期待と感謝と成長のあふれた時小発表会



スポーツの場では「観客の応援の力」がしばしば話題になりますが、ご覧下さい、時小発表会の会場を。ギャラリーまで超満員です。ご多用な中、足をお運びいただき、本当にありがとうございました。

会場となった体育館には、保護者・地域の方・ご来賓の方々の子どもたちへの思いと、その期待に応えようとする子どもたちの思いがあふれていました。

だからでしょう。練習の時と比べ、声は一層大きく美しく、動きも顔も生き生きとしていました。筋肉は、負荷をかけないと太くならないそうです。人の心も同じでしょう。「期待」という負荷がかかったり、「応えたい」という思いが生まれたりしないと、自信も耐性も育ちません。仮に本番でうまくいなくても、その過程で、すでに成長しているのです。

この日は、そんな子どもたちを日頃から支えてくださっている交通指導員や見守り隊の方々に、6年生から感謝状を贈る場が設定されました。

今回の感謝状は、最初の一人に読み上げ、他の方は以下同文という形ではなく、一人一人の日頃の様子や人柄、仕事ぶりに言及した、心を込めた文面になっていました。きっと、感謝の気持ちが伝わったと思います。



時小発表会という行事を通して、それぞれに成長した子どもたち。では、成長した自分を、どこでどう生かすのか。課題があったのならどう改善するのか…。代休明けの今日は、各学級でもう、次に向けた意識づけが始められています。

時小発表会という行事を通して、それぞれに成長した子どもたち。では、成長した自分を、どこでどう生かすのか。課題があったのならどう改善するのか…。代休明けの今日は、各学級でもう、次に向けた意識づけが始められています。